

3日

《岳温泉、「温泉総選挙2022」歴史・文化部門1位》

国民の応援投票で全国の温泉地をランキングする「温泉総選挙2022」の部門賞が発表され、県内からは二本松市の岳温泉が歴史・文化部門で1位に輝いた。岳温泉は1200年以上の歴史を持ち、安達太良山の源泉から約8kmを各旅館に引き湯して提供しており、その温泉を湯守が守り続けていることなどをアピールした。

《1月有効求人倍率1.49倍》

福島労働局が発表した雇用失業情勢によると、1月の有効求人倍率（季節調整値）は1.49倍で前月を0.03ポイント上回った。同局は「一部に厳しい状況があるが、引き続き求人が求職を上回っており、緩やかに改善している」との判断を維持した。

9日

《デンソー福島で水素活用の実証実験》

トヨタ自動車は、水を電気分解して水素を製造する水電解装置を開発し、田村市にあるデンソーの工場で実証実験を行うと発表した。製造した水素を工場のガス炉で活用することで、二酸化炭素の排出量を削減し、脱炭素社会の実現に貢献する。

11日

《しょうゆで港町復興》

東日本大震災で被災した福島、宮城両県のしょうゆ醸造の7蔵元と宮城学院女子大学（仙台市）が連携し、販路拡大などを図る「港町のしょうゆ屋」プロジェクトの第1弾となる商品が発売された。港町にある立地を生かし、蔵ごとに魚に合う商品を作った。

20日

《福島空港、開港30周年》

福島空港が開港から30年を迎え、県は福島空港ターミナルビルで記念式典を行った。内堀知事が「利便性向上と交流人口の増大を図るために路線の拡充と開拓、国際定期路線の再開を目指す。開港30年を契機に発展に全力を尽くす」と述べ、関係者とともにくす玉を割って節目を祝った。

22日

《県内地価2年連続プラス》

国土交通省が発表した公示地価（1月1日時点）によると、県内の全用途平均変動率はプラス0.5%と2年連続でプラスとなった。新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、商業地が上昇に転じるなどの動きがあり、東日本台風で被災した住宅地の一部では需要回復の兆しが見られた。

《浪江と富岡の復興拠点、避難指示解除決定》

政府は、原子力災害対策本部と復興推進会議などの合同会議を開き、東京電力福島第一原発事故による帰還困難区域のうち、浪江町と富岡町の特定復興再生拠点区域（復興拠点）の避難指示を解除すると正式に決めた。浪江町は3月31日午前10時、富岡町は4月1日午前9時に解除となる。

23日

《県産米4年ぶり値上り》

2022年産県産米の出荷業者と卸売業者の相対取引価格（速報値）は、60kg当たり平均13,116円で、2021年産より1,377円高く、4年ぶりの値上りとなった。県は、新型コロナウイルス禍で落ち込んだ外食需要が回復してきたことに加え、主食用米から飼料用米などへの転換が進んだことで過剰感が和らいだともみている。

27日

《本県「良い印象」、調査開始以来初の50%超え》

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの風評・風化対策として県が実施した2022年度の本県イメージ調査で、本県に良い印象を持っている割合は52.0%となり、2015年度の調査開始以来、初めて過半数に達した。

《水素燃料電池キッチンカー、全国初導入》

郡山観光交通（郡山市）が、トヨタ自動車と連携し水素を活用した燃料電池キッチンカーを全国で初めて導入した。県内での水素利活用モデル構築に向けた実証事業の一環で、車両はトヨタの燃料電池車「MIRAI（ミライ）」の技術を応用した。キッチン設備はIHクッキングヒーターやオーブンを備え、水素から生み出した電気で調理できる。